

神経病学

責任者・コーディネーター	内科学講座（神経内科・老年科分野） 寺山 靖夫 教授		
担当講座・学科（分野）	内科学講座（神経内科・老年科分野）、小児科学講座、脳神経外科学講座		
担当教員	寺山 靖夫 教授、高橋 智 教授、大塚 千久美 助教、大井 清文 非常勤講師、佐々木 一裕 非常勤講師、水野 昌宣 助教、三原 正敏 非常勤講師、米澤 久司 講師、赤坂 真奈美 助教、土肥 守 客員准教授、小笠原 邦昭 教授、久保 慶高 講師、田村 乾一 非常勤講師、亀井 淳 講師、紺野 衆 非常勤講師、金 正門 助教、工藤 雅子 講師、大庭 英樹 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 36時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

神経病学の基本理念：中枢神経、末梢神経疾患および筋疾患の総論、各論を関連各科によって系統立てて講義することを方針とする。

・一般目標（GIO）

神経病学の講義、自主学習を通じて、将来医師として活躍する際に必要な神経疾患の基本的知識を習得し、さらにそれらの知識を臨床で活用できる。実践的総合力を養う。

・到達目標（SBO）

1. 基礎医学の知識の上に立って、脳、脊髄、末梢神経および筋の正常構造と機能を再確認する。
2. 神経診断学の基本的知識として、神経心理学における高次脳機能、神経生化学における脳脊髄液、神経電気生理学における脳波、SEP、ABRなどの諸検査の方法、重要性を理解する。
3. CT、MRI、脳血管撮影などの神経放射線学的基礎知識を習得した上で、各神経疾患に特徴的な画像所見を学ぶ。
4. 脳血管性疾患、脳脊髄腫瘍、変性疾患、代謝性疾患、感染、中毒、外傷および奇形などの中枢性疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を学び、実践につながる応用力を身につける。
5. 脊髄疾患、末梢神経および筋疾患について内科的あるいは整形外科的基本知識を習得し、臨床に役立てられる学力を身につける。
6. 小児神経学を学び、成人とは異なる小児に特有な神経学的所見、症状を良く理解し、小児神経疾患の基本的知識を習得する。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/19	水	1	神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	神経心理学 (失語、失行、失認、記憶障害)
9/19	水	2	神経内科・老年科分野	大塚 千久美 助教	神経生化学 (薬理学、髄液)
9/26	水	1	神経内科・老年科分野	大井 清文 非常勤講師	神経電気生理学 (脳波、筋電図、誘発電位)
9/26	水	2	神経内科・老年科分野	工藤 雅子 講師	てんかん、頭痛
10/3	水	1	神経内科・老年科分野	佐々木 一裕 非常勤講師	自律神経障害
10/3	水	2	神経内科・老年科分野	水野 昌宣 助教	脱髄性疾患 (多発性硬化症)
10/10	水	1	神経内科・老年科分野	三原 正敏 非常勤講師	筋疾患 1 (ジストロフィー、ミトコンドリア脳筋症)
10/10	水	2	神経内科・老年科分野	三原 正敏 非常勤講師	筋疾患 2 (多発筋炎、重症筋無力症など)
10/17	水	1	神経内科・老年科分野	米澤 久司 講師	小脳性疾患
10/17	水	2	神経内科・老年科分野	高橋 智 准教授	錐体外路性疾患 1 (大脳基底核の解剖・生理)
10/24	水	1	神経内科・老年科分野	大塚 千久美 助教	錐体外路性疾患 2 (パーキンソン病、ハンチントン病)
10/24	水	2	小児科学講座	赤坂 真奈美 助教	小児の筋疾患 (筋ジストロフィー、ミオパチー、ミトコンドリア脳筋症)
10/31	水	1	脳神経外科学講座	土肥 守 客員准教授	脳血管障害 1 (クモ膜下出血をきたす疾患)
10/31	水	2	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	脳血管障害 2 (閉塞性脳血管障害)
11/7	水	1	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	脳血管障害 3 (閉塞性疾患の外科的治療)
11/7	水	2	脳神経外科学講座	久保 慶高 講師	脳血管障害 4 (脳内出血をきたす疾患)

11/14	水	1	神経内科・老年科分野	寺山 靖夫 教授	脳血管障害 5 (疫学・症候学・診断基準)
11/14	水	2	神経内科・老年科分野	田村 乾一 非常勤講師	脳血管障害 6 (危険因子・内科的治療)
11/21	水	1	神経内科・老年科分野	高橋 智 准教授	脳血管障害 7 (総括)
11/21	水	2	小児科学講座	亀井 淳 講師	小児の神経疾患総論各論 1 (けいれん性疾患)
11/28	水	1	小児科学講座	亀井 淳 講師	小児の神経疾患各論 2 (脳炎、感染後脳炎)
11/28	水	2	神経内科・老年科分野	紺野 衆 非常勤講師	神経筋疾患のケーススタディ 1 (脳血管障害)
12/5	水	1	神経内科・老年科分野	金 正門 助教	神経筋疾患のケーススタディ 2 (神経筋疾患)
12/5	水	2	神経内科・老年科分野	大庭 英樹 助教	神経筋疾患のケーススタディ 3 (変性疾患、遺伝性疾患)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	ベッドサイドの神経の診かた 改訂 17 版	田崎義昭、斎藤佳雄	南山堂	2010
推	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男、天野隆弘	中外医学社	1992
推	図説神経症候診断マニュアル	東儀英夫 編	医学書院	1996
推	ニュースタンダード 脳神経外科学 第 2 版 (H24.5 月頃 第 3 版に改訂予定)	生塩之敬 他 編	三輪	2007
推	標準小児科学 第 7 版	内山聖 他 編	医学書院	2009
推	整形外科シラバス：自己研修のための最新知識 全 3 巻	American Academy of Orthopaedic Surgeons 著、廣谷速人、田中清介 監訳	南江堂	1987
推	医学生・研修医のための神経内科学	神田隆	中外医学社	2008

・成績評価方法

出席が規定数を越えた者に対し、試験成績のみで評価する。
前期試験の成績を100点満点とし60点以上の者を合格とする。

・特記事項・その他

神経心理学	1回
神経生化学	1回
神経電気生理学	1回
自律神経障害	1回
脱髄性疾患	1回
てんかん・頭痛	1回
小脳性疾患	1回
錐体外路性疾患	2回
筋疾患	3回
脳血管障害	7回
小児神経疾患	2回
神経疾患のケーススタディ	3回

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	筋電計	1	実習用
実習	脳波計	1	実習用